

平成28年10月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日時：平成28年10月25日（火）13：30～15：15

場所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 小山委員 松本委員 米倉委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 力丸生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 星野文化課長 池見学校給食センター所長 大住指導主事 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会、教育長あいさつ
 - ・教育長職務代理者の指名について（報告）
 - ・議長の指名について
 - ・自己紹介
2. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・部活動について
 - (3) 教育委員会報告
 - ・市議会第3回定例会について
 - ・臨時議会について
3. 議案 なし
4. 協議事項
 - ・平成28年度古賀市各種委員会（教育委員会関係）委員等の選任について
5. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
6. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会、教育長あいさつ
 - 13時30分、教育長が開会を宣言。
 - 教育長職務代理者について、私からは石橋國重教育委員にお願いしたいと考えている。
 - 議長についても、石橋委員にお願いしたい。
- 石橋委員 大役ですが勤めさせていただきたい。
(大賀委員、事務局自己紹介)
2. 諸報告
 - (1) 教育長報告
(行事等)
 - ・10月1日、天照幼稚園の運動会で、園児の素晴らしい組み体操を見てきた。確固たる

園の経営方針のもと、日頃から鍛えることで、多くの保護者や来賓の前で組み体操を行っていた。校長会でも伝えたところだが、日頃からの教育が大事だということを幼稚園教育から学ぶことができた。

- ・ 10月16日、市民健康スポーツを今年度から古賀中学校をメイン会場にして行った。雨のため、外での競技ができなかったが、屋内競技と屋外競技を同時にできる場所の選定ということだった。中身については来年度以降検証していく必要がある。
- ・ 10月20日21日、九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会が久留米市で開催され、出席した。

(2) 教育委員情報交流

教育長 本日は、部活動について情報交流することとしたい。西日本新聞の連載記事をもとにお話いただきたい。おとしの記事だが、日本の教職員の多忙化がOECDの中で群を抜いている。事務作業、生徒指導、保護者への対応、部活動がある。部活動は日本独特。欧米ではクラブチームでやっている。福岡県も学力向上に向けて、ノ一部活動デーの徹底が義務制で出てきた。昨年、政令市教育長、県教育長、市町村教育長の学力向上についての会議の中で出てきたもの。中学校での勉強時間の確保、教職員の健康管理、多忙化の解消、子どもの健康管理を含めて出てきた。古賀市でも昨年から3中学校ともノ一部活動デーを実施している。古賀東中学校では3年前から毎週月曜日は部休日とした。今年度から3中学校とも月曜日をノ一部活動デーとしている。県の動きより早く、古賀市は実施している。現在の学習指導要領で、部活動について初めて言及された。学校の教育活動ではないが、それに順ずる重要な教育活動だということで学習指導要領に記載されている。部活動と家族とのつながりであるとか、授業との関係、友人関係とか、いいこともたくさんあるから日本独自の教育活動の1つだろうと私は思っている。ご意見いただき校長会にも伝えていきたい。

石橋議長 何かご意見ありますか。部活動のメリットデメリットなど。日本のスポーツ界を引っ張ってきたのは部活動。競技スポーツでいい成績を上げられるのは、学校教育の中の部活動があつてこそ、日本のスポーツのレベルの高さがあると思う。しかし、そこをめざしすぎると行き過ぎることがある。先生たちも強くしたい、勝たせたいと思う。保護者として、先生たちが一生懸命やってくれているし、子どもたちも勝てば喜ぶし、行き過ぎではないかとは言いにくいですが、学業との両立を考えた時に、先生方も大変なのだが、土日休まずにやられていることに心配を抱えていると思う。部活動を専門的にしていたり、趣味の範疇であれば関わりやすい。中学校の先生方を見たときに専門以外の方がかなり多い。そういう先生方が負担過重になって、自分の子どもの教育に対しても手が伸ばせない状況になり、随分負担を抱えていると思う。ヨーロッパなどは学校の部活と切り離している。社会体育で健康的な生涯スポーツから、競技スポーツまで、一緒にトレーニングしている。学校教育の中で部活動全てを委ねていくわけにはいかないのではないと思う。他国にくらべると、格段に長い時間となっている。

小山委員 3中学校でも考え方が違うし、部によっても考え方が違う。クラブチームのように部活をがんばりたいところもある。ただ、そういうところがあるから、他の部も同じようにがんばってほしいということで、生徒間同士でも練習量などを比較しているようだ。本

来、部活は学校教育の一環だと思っている。部活だけに集中するのはいかがなものかと思っている。時間的なものを縮小し、内容を濃くしたり、学習の一貫であれば子どもたちの自主性を育てるようなところを考えさせたり、やり方を考えてもらえたらと思う。

松本委員 部活動は子どもにとっていいことだと思う。子どもの成長にとっても、社会性や教育面で大事だと思う。部活動は中学校で大事な教育活動の一環だと思う。ただ、先生たちに負担になっていたり、一方で勝つためにしゃかりきになりすぎている。部活動の本来の目的のところ、得意なスポーツの顧問の方はいろいろな面でもっともっとということに厳しくされるのだろうが、中学校の教育の中での部活動を見つめ直すと、部活動の時間、週に1回休みを取る必要あるのではないか。土日にも試合があり、先生たちに休みはない。部活動を一生懸命されている先生は、土日に学校に行っているから、普通の日休んでいいのではないかとと思われる先生が、一人や二人じゃなくいらっしやると思う。そうすると、本来の先生としての意味も変わってくるし、生徒からすると、不信感をもつこともある。ある程度のメリハリ、けじめを、先生も保護者も持つ必要があるのではないかと思う。できれば、地域の方、社会スポーツと協力しあえたらいいのだろうと思う。地域の方と一緒にあって、例えば文化部の茶道部や美術部などで、できることがあると思う。週1回でも地域の方に来てもらうことができれば、先生も少しは余裕ができると思う。いろいろな方法を見つけて、地域性も入れていければいいのではないかと思う。

石橋議長 外部講師はいるのか。

教育長 中学校では予算化している。部活動の指導をできる人いない場合、地域の方を外部講師としてお願いし、謝金をお支払している。今後、体育協会とも連携しながら、無料でしてもらえないかなと私としては考えている。糟屋区内を調べると、月3,000円というところもある。古賀市は月1万円を昨年までは支払っていた。今年度からは月5千円をお願いしている。謝金を払わない方にも応援してもらっている。今後、地域の子どもを、地域でスポーツを通じて育てようではないかという意識に立っていただけたらと、個人的には考えている。

大賀委員 部活動を経験している子どもがまだいないので、このような書面で調べて、部活に問題が山積していることを今回初めて知った。思春期の子どもを安心して預けられる大人ということを考えたら、教員免許をもってある先生方、日頃から親しんでいる先生方だと保護者にとっては安心できると思う。学校で放課後にスポーツや文化活動を行えるということは、移動時間も少ないし、月謝等も不要なので、経済的にも保護者としては楽なんだろうなという思いもある。信頼してくれる大人が活動をサポートしてくれるということから、学校の部活動は非常に効率的だなと感じている。ただ、その反面、先生方の多忙さには本当に驚かされたし、専門でない部活を教えなければいけないということに、ケガの心配を一番感じた。地域で何かサポートができればいいなとは思っている。

石橋議長 専門性のある先生がいるかどうかで、部が存続できなくなることもある。米倉委員はご自分でも部活動をされたらと思うが、顧問をされたこともあると思うがいかがか。

米倉委員 自分もしていたし、顧問もしていたし、管理職としても関わった。記事を見ると、教員

の実情が書いてあると思う。一番苦勞するのは、専門でない場合。子どものことを考えると、無理にでも顧問をしてもらわないと部がつぶれてしまう。スポーツだけではなく、子どもの精神的なこと、友人関係を考えると部活動は必要だと思う。ただ、学校だけでこなしていくのは困難。朝6時から22時まで学校にいるというのは教員の現実。やる以上は生徒も先生も勝ちたい。練習をしなければ弱くなる。教育委員会ができることは補助をすることかなと思う。経験としても外部指導員はかなり助かった。ただ、外部指導員と顧問がうまくいかないと難しい。外部指導員を入れるなら幅をもたせる必要がある。孫も他市でバレーボールをしている。ほぼ毎日部活に行っている。やればやるだけ強くなるのかもしれないが、かといって、7日間やったからといって効率が上がることも限らない。できれば平日1日、土日いずれか1日を休む必要はあると思う。先生方も中途半端にはやれないので、まわりから仕込んでやる必要があると思う。水泳や新体操は部活から離れて、スクールでやっている子が多い。やがて他の部活もそうになっていき、部活の数が整理できれば、学校もやりやすくなると思う。

石橋委員 この場で答えがでるものではない。部活動には両面がある。部活動には教室で教えられない、学べない何かがある。そのメリットは今後も生かしていかななくてはいけない。米倉委員が言われるように数の精選ができていけば、学校の負担は減るのかなと思う。皆さんご意見ありがとうございました。

教育長 ご意見ありがとうございました。古賀市は今年から月曜日休みを統一している。県にも質問を投げかけている。私は県学力向上推進会議の委員をしているが、県はノー部活動デーの徹底は、国の動きを見ていると知っている。そこが問題ではないのかと申し上げた。ノー部活動デーの徹底は健康管理、勉強時間の確保にもつながる。部活動にはいろいろな問題点もある。車での送迎を毎週保護者がする、バスの利用にも意見がある。競技指導だけではなく、顧問が保護者や生徒のトラブルに巻き込まれることもある。メリットは担任が困っている場合、顧問の話は聞く場合がある。

石橋委員 長時間練習したからといって、うまくなるとは限らない。1日練習を空けることにより、体力が落ちるのではないかという考えの方がまだ多い。休養をとることで、疲労回復しプラスアルファが出てくる。早く福岡県下でノー部活動デーが定着するといい。そうなれば、先生方もこの一日は他のことにエネルギーが注げる。本日の意見交換はこれまでとしたい。

(3) 教育委員会報告

石橋議長 教育委員会報告、市議会第3回定例会について報告してください。

教育部長 第3回定例議会について、第64号議案平成27年度一般会計決算の認定については、9月16日に教育予算の決算特別委員会で質疑を受け、27日の議会最終日で認定されている。

石橋議長 (3) 教育委員会報告の臨時議会についての報告に入る前に、この報告については、市議会で審議される前の機関内部の協議に関する案件であることから非公開が適切と考える。会議は原則公開であるが、委員の発議により出席者の3分の2以上で決したときは

非公開とすることができることと定められていることから、教育委員会報告の臨時議会についての公開・非公開について委員の議決をお願いしたい。

小山委員 教育委員会報告臨時議会について、非公開とすることを発議する。

石橋議長 教育委員会報告臨時議会については、非公開とすることを発議があった。この発議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により可否の決定を行う。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いしたい。
(委員全員 挙手)

石橋議長 挙手全員。教育委員会報告臨時議会については、公開しないことに決定する。

3. 議案 なし

4. 協議事項

石橋議長 平成28年度古賀市各種委員会（教育委員会関係）委員等の選任について、提案をお願いしたい。

教育総務課長 各種委員会への委員の選任については、4月に選任させていただいているが、10月に大神委員が退任されたことから空席が生じている。空席は古賀市社会「同和」教育推進協議会理事と古賀市学校人権教育研究協議会顧問の2名。それぞれ推薦をお願いしたい。

石橋議長 事務局案があればお願いしたい。

教育総務課長 事務局としては、大賀委員にお願いできたらと考えている。

石橋議長 大賀委員、いかがですか。

大賀委員 承知しました。

5. その他事項

(1) 各課（所属）報告

ア、教育部長

- ・10月20日、暴力追放市民会議に出席し、粕屋警察署職員の話聞いた。糟屋地区には暴力団組事務所はない状況だが、暴力団構成員はいるとのこと。教育委員会としてはスクールソーシャルワーカー、心の相談員などで人的配置なフォローをしながら、総務部、福祉部と全庁的に関わり、暴力団に入る子どもを出さないように取り組んでいきたいと考えている。

イ、教育総務課

- ・平成28年度学校施設整備工事進捗状況について。花鶴小学校大規模改造工事が現在施工中で、教室棟と体育館屋上防水工事をする。11月1日入札予定、29年3月3日完了予定。生涯学習センター及び周辺施設整備工事については、本体工事は完成したが、研修棟解体工事、駐車場・外構工事を施工中。29年2月15日完了予定としている。
- ・10月3日現在の教育委員名簿を配布している。

ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数については、昨年に比べると若干増えているが、中1不登校生徒数では2名となっている。
- ・就学支援委員会の活動状況について。年間6回開催し、気になる様子や行動がみられる児童生徒、発達遅れが心配など、小中学校就学に関する悩みや不安をもつ保護者を対象として、発達検査の結果や面談等を元に学校での就学支援の協議を行っているもの。昨年度は94名の申し込みがあったが、今年度は既に100名を超えている状況。今年度顕著にみられるのは小学校就学前の子どもが多いということ。委員は21名で構成。就学状況は、特別支援学級や通級指導教室に在籍している子どもたちは昨年比20名増。設置状況は、知的障害学級、自閉症・情緒学級は全小中学校に設置。その他障害種に応じて学級を設置している。
- ・教職員の研修状況は記載のとおり。
- ・平成28年度文部科学大臣学校給食表彰を小野小学校が受賞した。全国で25校、福岡県で2校が受賞。秋田市で11月10日に表彰式があり、小野小校長が出席予定。

指導主事 台風18号のために、古賀北中学校訪問が11月29日へ延期になった。

小野小学校、古賀中学校訪問の要綱を配布している。小野小は地域力を生かし総合的な学習をしている。6年生と3年生を参観する。5年生もみていただきたい。古賀中学校は文化発表会を参観する。古賀中では地域の方を学校に呼び込む特色ある教育活動を行っている。

エ、生涯学習推進課 なし

オ、文化課

- ・国史跡指定記念企画展船原古墳展のチラシを配布している。10月3日、船原古墳が国史跡指定されたことを記念し、11月1日から歴史資料館にて、船原古墳展を開催する。平成25年に発掘した馬冑を復元し、実物を初公開する。11月19日に記念講演を多目的ホールで行う。
- ・10月30日、市民劇団DAICOONの講演のチラシを配布している。DAICOONは公募型補助金を出している団体である。

カ、青少年育成課

- ・10月30日、千鳥児童センターで、来館している子どもたちが主体的に実施するコスモックス祭りを開催する。
- ・11月27日、古賀市子どもわくわくフェスタの案内を配布している。リーパスプラザこがにて、ボーイスカウトや海洋少年団、アンビシャス団体等が集い、祭りを開催する。
2,000人ほどの参加を見込んでいます。

キ、給食センター なし

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (12月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 12月定例教育委員会は12月22日13時30分とする。

6. 閉会

議長が閉会を宣言し、15時15分閉会した。